

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和8 年 6 月 17 日

山口県知事 様

提出者

住 所 東京都江東区平野3-2-6 木場パークビル
氏 名 ベステラ株式会社 代表取締役 本田 豊
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-3630-5555

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和7年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	①3GTプラント撤去工事 ②3GT充填場(TK-850,TK-860)撤去工事
事業場の所在地	①・②共通 山口県玖珂郡和木町和木6-1-2(三井化学(株)岩国大竹工場)
事業の種類	解体工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和7年4月1日 から 令和8年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	24112.22 t	全処理委託量	24112.22 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	23988.22 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

※事務処理欄

(日本産業規格 A列4番)

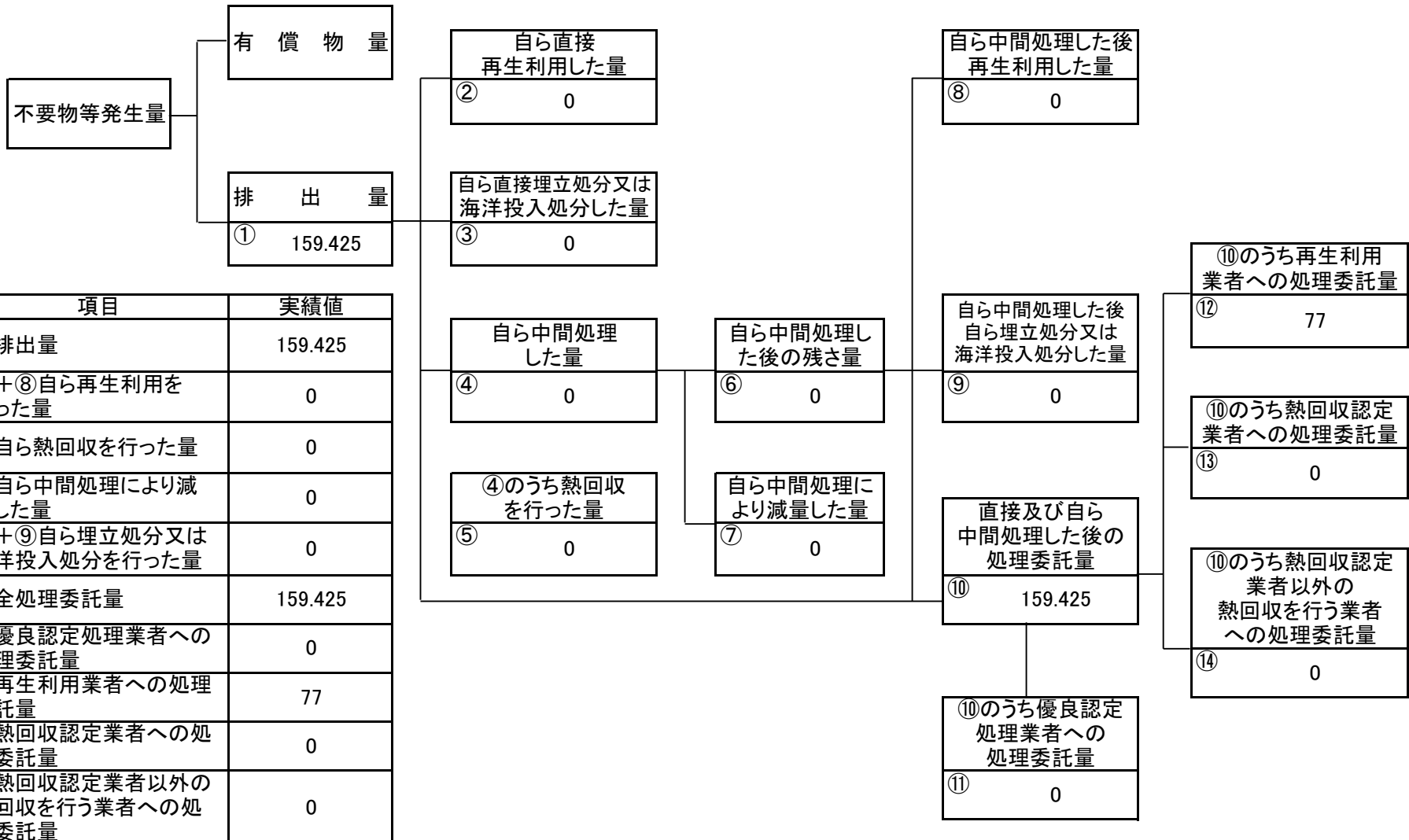
多量排出事業者の産業廃棄物処理計画実施状況報告書(令和7年度実績)

多量排出事業者 名 称	①3GTブランド撤去工事 ②3GT充填塔(TK-850,TK-860)撤去工事	所在地(市町名)	和木町	事業の種類	解体工事業
-------------	--	----------	-----	-------	-------

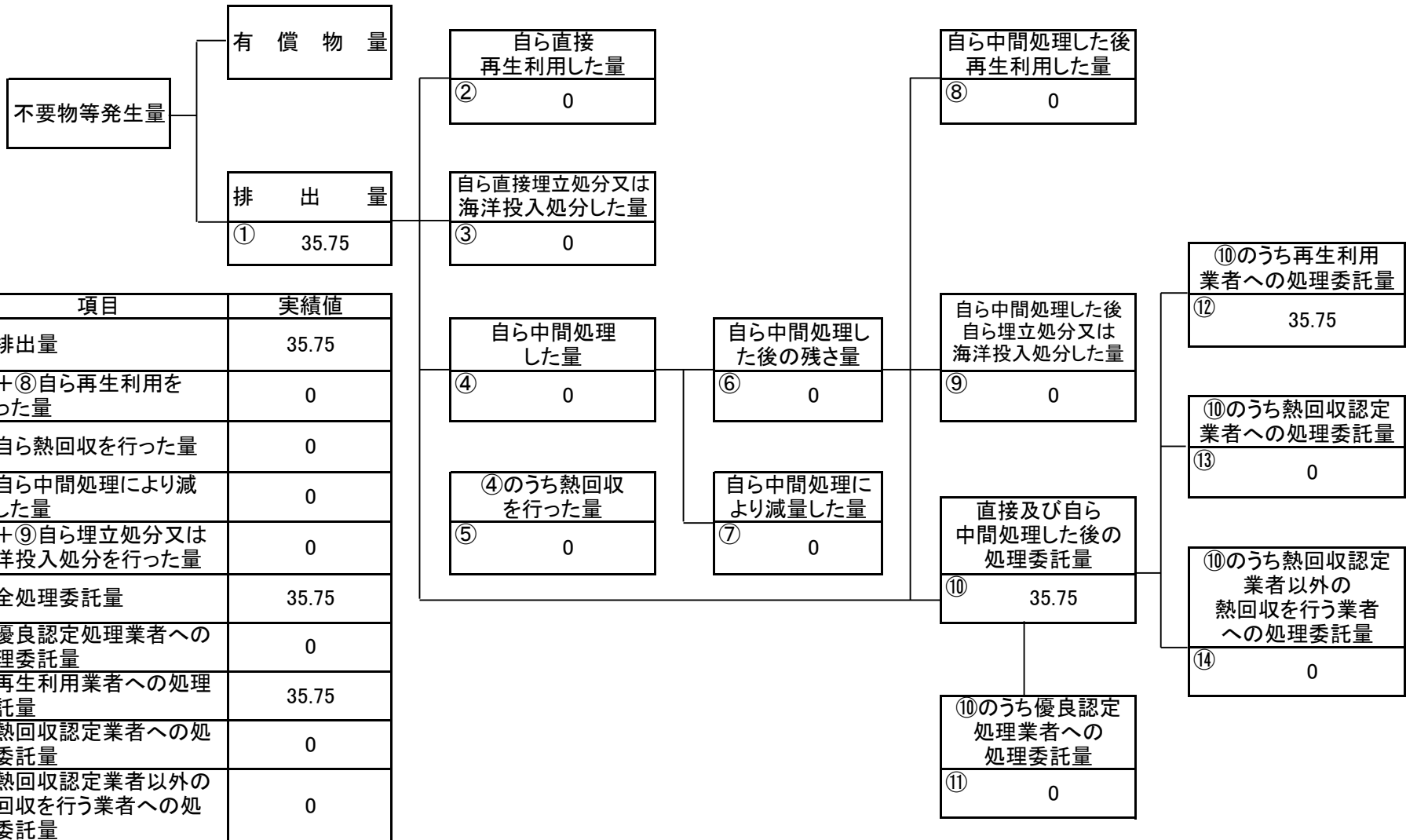
区分	種 類	計 画 の 実 施 状 況										④ 等のうち再 利用可能な の処理委託量										⑤ 等のうち中 間処理をへる 処理委託量				⑥ 等のうち最 終処分業者への 処理委託量			
		① 排出量	② 自ら資源再生 利用した量	③ 自ら直接埋立 処分又は廃平設 入処分した量	④ 自ら中間処理 した量	⑤ 他から中間処理 を行った量	⑥ 自ら中間処理 した後の焼却 した量を	⑦ 自ら中間処理 した後の焼却 した量を	⑧ 自ら中間処 理した後、再利 用した量	⑨ 自ら中間処 理した後、自 ら埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩ 直接及び自 らの中間処理 した後の焼却す る処理委託量	⑪ 等のうち再 利用可能な の処理委託量	⑫ 等のうち中 間処理をへる 処理委託量	⑬ 等のうち最 終処分業者への 処理委託量	⑭ 等のうち最 終処分業者への 処理委託量	⑮ 等のうち最 終処分業者への 処理委託量	⑯ 等のうち最 終処分業者への 処理委託量	⑰ 等のうち最 終処分業者への 処理委託量	⑱ 等のうち最 終処分業者への 処理委託量										
産 業	燃え殻									0	0		0																
	汚泥									0	0		0																
	廃油									0	0		0																
	廃酸									0	0		0																
	炭アルカリ									0	0		0																
	廃プラスチック類	159								159	77	77		82	33	50													
	紙くず									0	0		0																
廃 棄 物	木くず	38								38	38	38	0																
	繊維くず									0	0		0																
	動植物性残さ									0	0		0																
	動物系固形不潔物									0	0		0																
	ゴムくず									0	0		0																
	金属くず									0	0		0																
	ガラスくず、コンクリートくず、 陶磁器くず	500								500	0		500	500															
物	紙さい									0	0		0																
	がれき類	5,647								5,647	5,151	5,151	0	496	487	9													
	動物のふん尿									0	0		0																
	動物の死体									0	0		0																
	ばいじん									0	0		0																
	13号産業物									0	0		0																
	計 (A)	6,342	0	0	0	0	0	0	0	6,342	5,264	5,264	0	0	0	0	1,078	1,020	99	0	0	0							

① 繰出量	② ③と④から再生利用を行った量	⑤ ⑥から熱回収を行った量	⑦ ⑧から中間貯蔵により減量した量	⑨ ⑩と⑪から立入処分を行った量	⑫ ⑬と⑭から立入処分を行った量	⑮ ⑯と⑰から立入処分を行った量	⑱ ⑲と⑳から立入処分を行った量	㉑ ㉒と㉓から立入処分を行った量	㉔ ㉕と㉖から立入処分を行った量	㉗ ㉘と㉙から立入処分を行った量	㉚ ㉛と㉜から立入処分を行った量
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
159	0	0	0	0	159	0	77	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
36	0	0	0	0	36	0	36	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
500	0	0	0	0	500	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5,647	0	0	0	0	5,647	0	5,151	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6,342	0	0	0	0	6,342	0	5,284	0	0	0	0

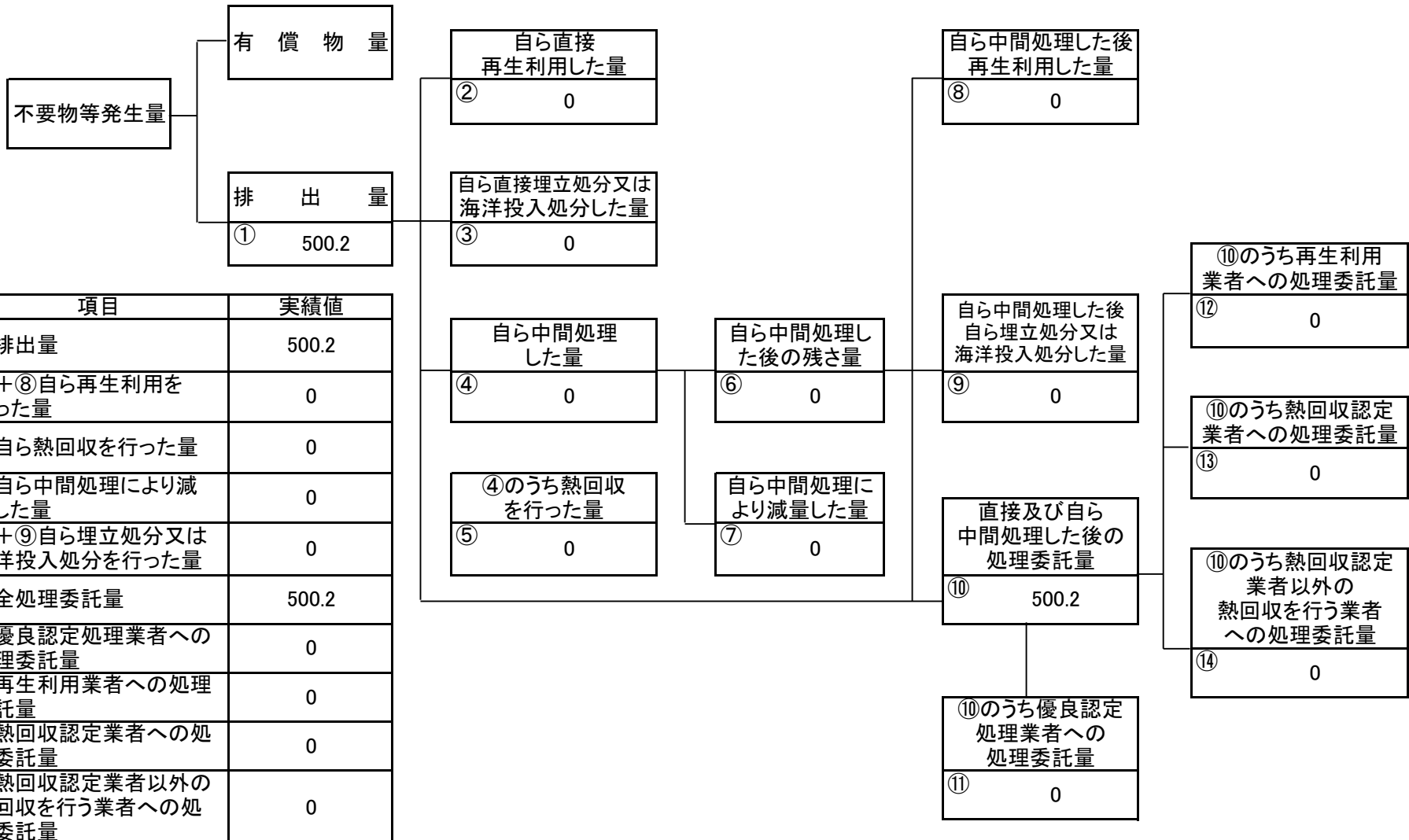
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 廃プラスチック)



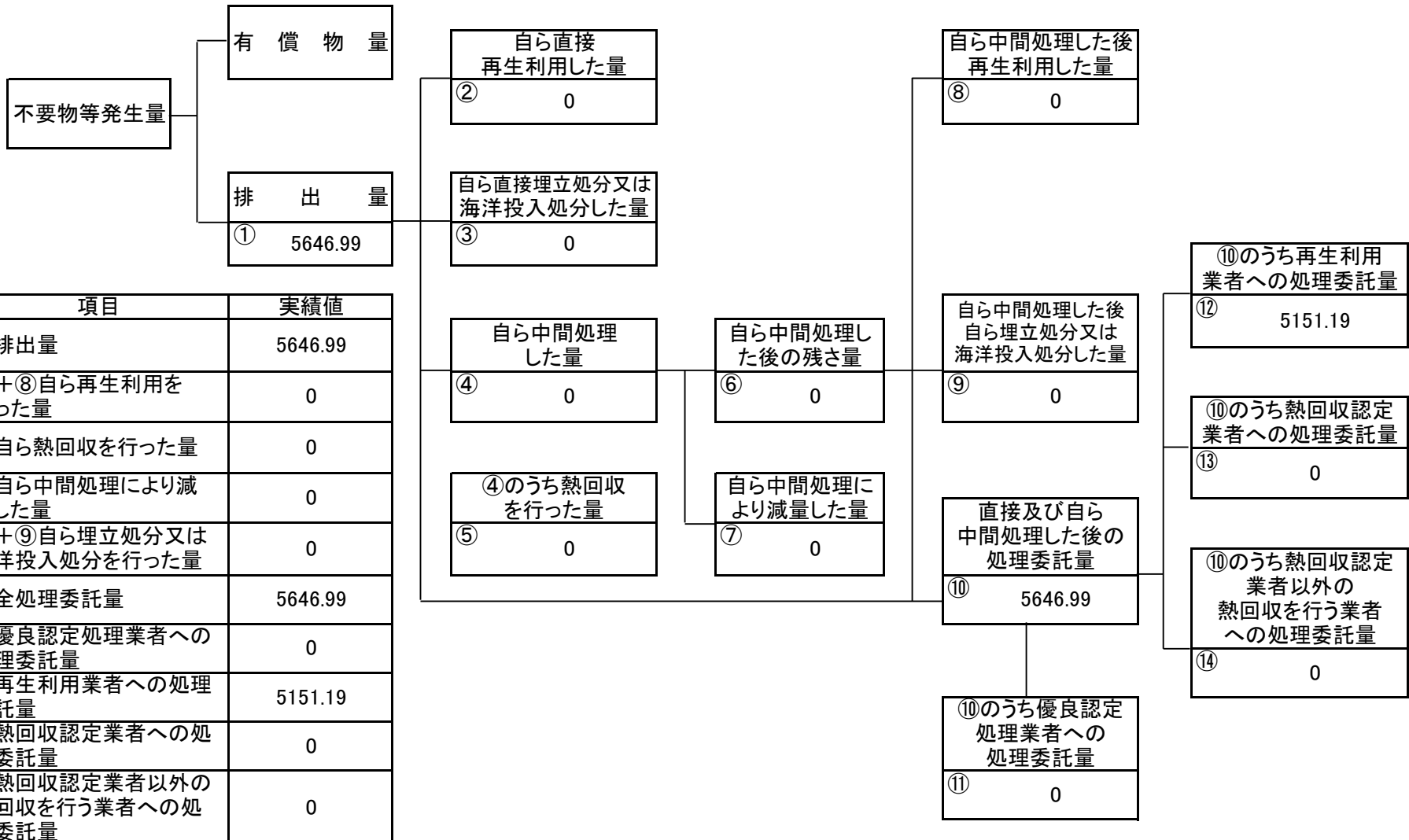
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 木くず)



計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず)



計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: がれき類)



(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。